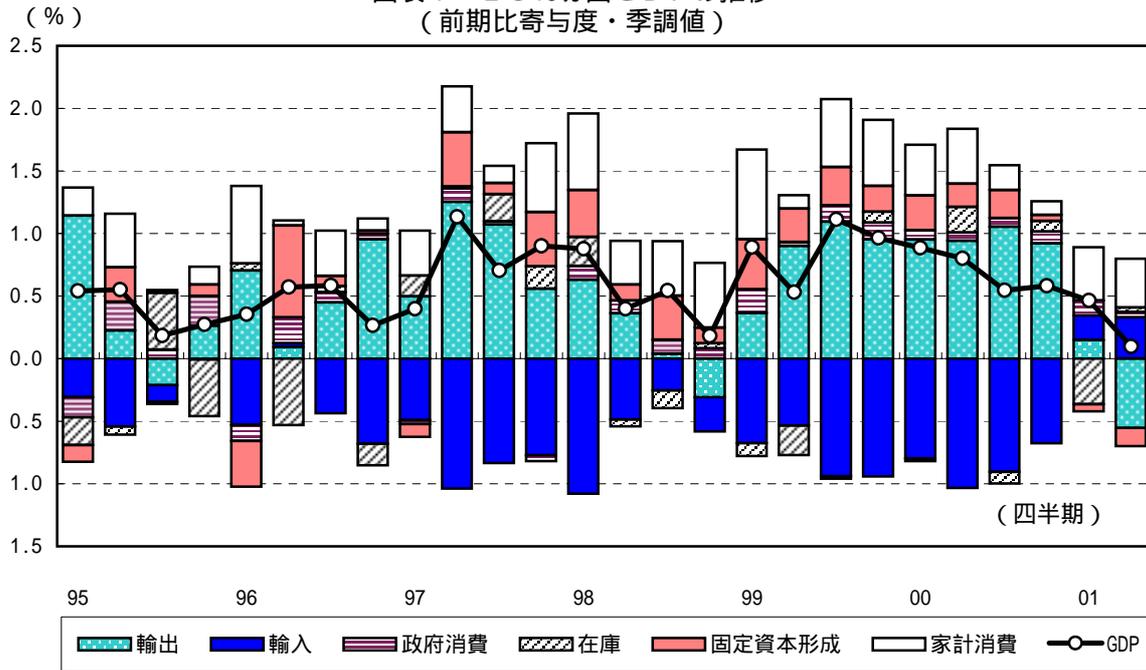


減速する欧州経済と外部環境の影響

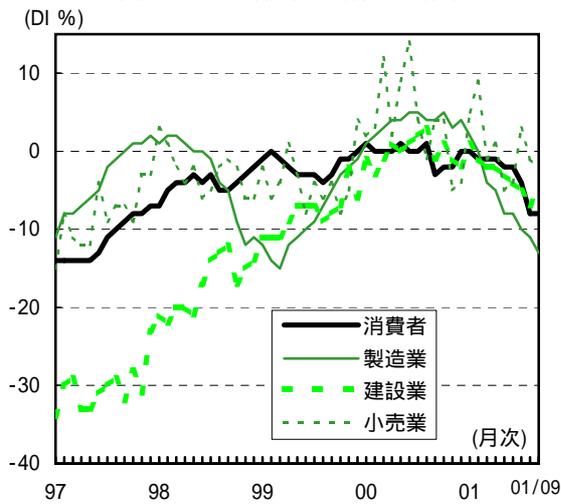
- ・欧州経済(EU15カ国)は、2001年第2四半期GDP成長率が前期比0.1%に止まり、顕著に減速している。内訳を見ると、家計消費が堅調な一方で、これまで好調であった米国向け輸出が減少へ転じ、固定資本形成も減少基調となっている。
- ・すでに域内各産業および消費者のマインドは総じて弱い。米国の景気減速に加え、同時多発テロ事件後の軍事報復長期化に伴い、欧米両地域における消費が冷え込むことになれば、内外需ともに景気に対して深刻な影響を与える可能性がある。

図表1 EU15カ国GDPの推移
(前期比寄与度・季調値)



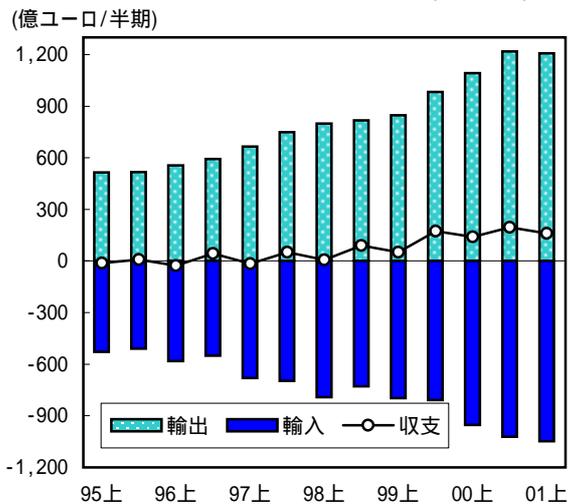
(備考) eurostat資料により作成

図表2 景気信頼感指数の推移



(備考) 欧州委員会"Business and Consumer Survey"

図表3 域外輸出入額の推移(対米国)



(備考) eurostat資料により作成

[調査部(経済調査担当) 藤井 昭光]